

令和7年度 第3回立川市幸学習館運営協議会 議事録

開催日時 令和7年6月2日(月) 午前9時30分～11時30分
開催場所 幸学習館 第1教室
出席委員 柴田 樋口 大竹 須崎 岡野 伊藤 西村 跡部 竹内 菊池 (敬称略)
欠席委員 2名
地域学校コーディネーター 山田 (敬称略)
事務局 守屋 有田 吉田
会議の傍聴 公開
傍聴者の数 0名
企画提案者 10名 (東京学芸大学学生)

資料

- 1 令和7年度第2回幸学習館運営協議会議事録案
- 2 令和6年度「かわせみカフェ」スタンプカード
- 3 かわせみ祭総合パンフレット
- 4 チラシ

1 会長あいさつ

2 事務局報告

○生涯学習推進センター主催事業

- ・ロバの音楽座「オンガッカイ」について 6/14(土)

現在は57人ご応募いただいている。定員80人なので若干席が余っている。お知り合いにお声かけいただければまだ間に合う。ちなみに、電子申請23人、電話での申請34人。

当日、ご協力いただける方に準備、片づけをお願いしたい。11時30分集合でお願いしたい。

- ・かわせみ祭について

作品展示、舞台発表、公開教室とあるので、興味のある所に参加をしてほしい。また、お友達などに周知をお願いしたい。

- ・団体企画型講座「十文字自彊術体操初心者セミナー」について 6/7(土)

すべて電子申請で受け付け。定員10名のところ、受付開始日に定員に達した。

○地域学校協働本部事業について

- ・9中 学校運営協議会、体育大会について など
- ・南砂小 放課後子ども教室連絡会、地域デー、修学旅行について など
- ・若葉台小 放課後子ども教室について など

3 議 事

(1) 「令和7年度第2回運営協議会議事録」の確認

(2) 事業について

- ・子どもおやつ作り教室について

7/26、8/9、8/23（土）9:30～12:00

メニュー「手作りソーセージとゼリー」「夏野菜のピザ」「おからマフィン」

アレルギーについてはしっかりフォローする。電子申請で詳細に質問、受付で丁寧な回答をしている。

- ・ベビーマッサージと産後のヨガ体操

前年度の引継ぎをもとに内容を検討する。

- ・かわせみカフェについて 12/6(土) 10:00～15:00 実施。

- ・防災講座について 1/17(土)

これから講師に打診する。

(3) 地運協パネルについて

前回の会議で了解をいただいたうえで貼った。帰りに見てほしい。何かあれば教えてほしい。今回、講座の中にあつた、簡易トイレの普及についての対応をしっかりやっという内容をパネルで強調した。

4 各委員より報告

- ・電子申請のほうがり申し込みしやすいかどうか
- ・市主催の講座で Zoom を利用している頻度等
- ・地域福祉コーディネーターの紹介（書面）
- ・食を扱うときのアレルギー対策等、決まったらご報告する

5 かわせみカフェ企画案プレゼンテーション

12/6（土）実施に向け、東京学芸大学の学生にプレゼンテーションをしてもらった。

今年度のサブテーマは「絵本」。

◎実施内容…案（詳細は略）

カフェ（絵本カルタカフェ）、運動（ぐるぐる絵本アドベンチャー）、展示（シュトーレン、みんなのおすすめ本ツリー、懐かしの本紹介）、工作（しおり作り、紙皿でひげ作り）、劇（ペーパート、桃太郎裁判）、昔遊び、まち歩き

◎検討事項等

○カフェ

委員 A：立川にちなんだ絵本はあるか？

委員 B：立川の昔話はあるが、文字としての伝承なのでグラフィックにはなっていないのでふさわしくないかもしれない。

学 生：立川にちなんだカルタにしようとも考えたが絵が難しいので、絵本をテーマにしたカルタのほうがやりやすいのでは？ と考えた。

委員 C：読み上げ札を作成する際、著作権への配慮は？

委員 A：確認する

委員 D：競技性が出てくるので、賢い子がいると独占状態になる。疎外感が出る。平準化するようなルールはあるか？

学 生：年齢で分けると差が出ないか？ 何年生が来るかわからないが…。

委員 C：一人強い職員をつけて「プロ」と勝負するような方法もある。

○運動

委員 D：昨年度はクイズが難しかった。わかりやすい、やさしいものも入れてほしい。

委員 C：参加している子どもたち目線から、ただのお兄さんお姉さん地域の大人なのか、出題者なのかはぱっとわかるといいが、出題者かどうかわからないけど話しかけてみるのを促進するのもいい。

○展示

委員 C：ツリーの付箋を、七夕の短冊のように手にとって見られて戻せるような形にできると。遠くにあって貼っているものは見ている印象がない。

せっかく入り口でやるので「ここと関連がある」とできたら。

事務局：紹介したものを貼って終わりなのももったいない。書いたことによって「おすすめだから探そう」という流れにつながるという。

○工作

委員 C：ラミネート作業は？

学 生：本物のラミネートはコストがかかるので、透明のテープで試作した。しおりとしては十分ではないか。

事務局：利用許諾の確認をする。加工してはいけないなど一定のルールがある。

学 生：今考えているのは、しおりの裏面に印刷するのと、本の横に書く紹介ポップに貼り付けるもので、加工はしない。

○劇

委員 D：模擬裁判みたいなことで、意識を醸成させるものと見ている。

「死刑」か「無期懲役」。「断罪」しかない。「無罪放免」はあえてつぶしている？ 罪は罪だから償えということなのか？

学 生：わかりやすいというのが一番。

事務局：プロジェクター1台しかないなので、調整してほしい。

「懲役」廃止。「拘禁刑」に。時代の流れを取り入れたほうが良い。

委員 C：この距離感ではA4では小さい。A3とかでつくと遠くから見たい人でも見えるのでは？

○昔遊び

委員 A：和室での実施を考えている。

委員 B：畳の上にブルーシートを敷くようになると思う。

委員 A：場所を考えてみる。

○まち歩き

委員 B：どの時間帯に誰が誰をどこに連れていくか、という制限がある。幸学習館は栄町、幸町、若葉町の3つの地域から成り立っている。全部の地域を案内するのは2時間以上かかるので事実上無理である。学習館周辺の、誰もが知っている歴史的な遺産を、小学校高学年の児童に紹介するのがいいのではないかと思う。学習館の行事として、学習館をとりまく地域の人に知っていただくことは重要だが、学生がその中で何をするのか、勉強してもらって案内人と同じレベルで説明するのが一番いいが、なかなか時間的な制約があって苦しい。今回でなくてもいいがいずれやったほうがいいなと思うのは、「かわせみカフェのときに南極北極館への遠足に行きませんか？」ということも代案として一つ考えられる。地域を案内できる人は限られる。知識はあるが、危ない道を子どもと一緒に歩くのでリスクがある。子ども3～5人に対して学生が1人ずつつくのであれば実現不可能ではないが、課題がいくつもある。まだ7か月あるので、一緒にご検討いただければありがたい。ただ、かわせみカフェのときにまち歩きをやってみたいというのは同じ思いで。

委員 A：1時間コースもあるとうかがったが？

委員 B：3か所くらいまわるのであれば1時間くらいで行けると思う。

委員 A：参加者の見守りを学生がおこないながら、まちを歩きながら世代間交流ができる仕掛けを考えることは可能である。これからまた詰めていきたい。

○その他

事務局：多岐にわたっているので、調整して時間やスタッフの配置など無理のないような形でお願いしたい。

会 長：くるりんは？

委員 A：借りる

会 長：全部入れるとかなり時間的なものをきっちり計算していかないと全部中途半端になってしまいそうな気がする。

事務局：人員は足りるか？

委員 A：コアのメンバーがプラス5～6人いる。今年はあと25人くらいスタッフになる学生がいる。40～50名弱くらい。

事務局：いろいろなことをやることによって薄くなってしまふことを懸念している。薄くならないように検討してほしい。参加者が減ってきている。そこについても考えないといけない。

委員 A：広報が課題であると思う。

事務局：もちろん広報もそうだが、中身でいかに来てもらうかということをもっと考えないといけないと思う。この地域の人たちが参加しようと思うような魅力的なものにしていければよい。

委員 A：いいアイデアを皆さんから募りたい。学生だけでこの地域でイベントを企画して集客するというのは SNS などを使うことも可能だが、それだけでは地域に根付いていない者たちなので難しい部分もある。学習館のネットワークを使っていただいたり広報していただければ幸いです。

事務局：スタッフの人数は足りていても、子どもの奪い合いになるかもしれない。全部出たとしても同時にやっていて出られないなど。時間帯をずらすなどの工夫を。

委員 A：コロナを機に高齢者の参加が減ってしまった。そろそろまた復活させたい。

会 長：人はいるが、その日の自分の状態で行こうと思ったけどやめたという人もいる。早いうちにあちこちに声をかけるようにしましょう。

委員 C：「プレ」みたいな形でリーチできる機会を持ってないか？ よほど楽しい体験になると子どもたちは思っていないと、そのために予定の調整はしない。「たまたま暇だから行く」というのでは集客は難しい。「今度、こんな楽しいことをやりますよ」ということを知る機会をどこかでつくれるといいのではないか。

委員 D：ウェブでシミュレーションできるのではないか？ 全体をあらわすとネタバレになるので、興味をそそるような形で「これの答えは本番でどうぞ」みたいな流れにして。今のお母さんはウェブをやっているので、子どもにも浸透するはず。ただ、高齢者がデジタルを使いこなせていない前提で考えると、ロコミしかない。若者はデジタルで進めて事前に興味を持ってもらう。

委員 C：デジタルは際限なく広がってしまう。地域のつながりを重視するか、地域のことを外に知ってもらうか？

会 長：PR を早くからやっていかないといけない。同じ企画があっても「幸に行こう」と選んで来たという人が何人かいた。何か常に目に届くような感じの部分で訴えたい。案内は自治会を通して配っているがなかなか浸透しない。

委員 D：SNS は止められない。他地域の方で興味のある人が来れば、立川の人が他地域に行くこともあるので、相互交流になる。ターゲットをどこにするか。限定するような形を。車も自転車もなければほかの市から来ることを想定していないと思う。

会 長：チラシは学生に作ってもらいたい。

委員 A：チラシができれば、学校や保育園などに学生が出向いて宣伝に行くのは可能か？

事務局：チラシは全児童配布する。学生が個別に学校の時間をいただいて配布するのは難しい。配布自体はしてもらえと思う。実際に来るのはこの辺の子が多いと思う。ある程度ターゲットを絞って。

会 長：学習館の方も保育園、幼稚園、学校などをまわっている。

委員 D：学童に来ている子。土曜日はほとんど来ない。「こういうのあるけど知ってる？」ときいても「え？」と。知らない。チラシあるけど見ないのかなあ。

会 長：みんなで、口で言っていく！

内容が決まったら、案内はいつまでに作る必要があるか？

事務局：確認する。

委員 B：学校の校長先生の対応。校長宛の文書を作って行くと、入口で「会議中なので渡しておく」というレベルで終わってしまう。校長先生にぜひ趣旨をきいていただいて生徒さんに勧めていただきたいというレベルに行くと、アポイントになるので、校長先生の空き時間にあわせて学生さんが訪問することになると思う。お忙しい方なので、そこまでやらないと困難なのは。

会 長：今年度については学習館のほうにお願いをして配布してもらうという方法で考える。

委員 A：いただいたご意見を持ち帰って検討し、来月、結果を伝えたい。

6 その他

- ・次回の開催日：7月7日（月）9:30～11:00 幸学習館第1教室